

# やまぐち自然共生ニュース

やまぐち自然共生ネットワークは、県内で自然環境の保全活動や自然とのふれあい活動などを行っているグループや個人のネットワークです。

私たちは自然環境との共生によって、すばらしい自然環境を後世に伝えていきます。

## 活発な活動

やまぐち自然共生ネットワークには、現在、団体会員が 59 団体、個人会員が 115 名入会されており、それぞれの団体、個人の方が自然環境と関わり、様々な活動をされています。ニュースでは、各団体・個人から寄せられた活動の様子を紹介します。

## 榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会

(所在地：山口市、活動場所：榎野川流域)

### 【この会は】

平成 13 年、榎野川の支流仁保川の最上流端に、産廃処分場設置の動きが持ち上がりましたが、自然を守ろうとする地元仁保自治会の積極的な取組に賛同した、多くの人々の熱い思いが結集され、全国各地から 1,300 万円を越す浄財が寄せられました。

この運動の中心となったのが「榎野川の源流を守る会」でした。このお金で処分場予定地一帯の約 5 ㍍の土地を「山口市有地」にすることができ、産廃処分場問題は完全に終結しました。

山口市は、この地に寄せられた多くの人々の思いに応えるため、「四季の森公園整備事業」に取り組むことになり、その地拵えや植林作業、更に手入れ作業にも、たくさんのボランティアの皆さんが汗を流してくださいました。

この皆様方に「ありがとう」の気持ちを込めて地域通貨「フシノ」に取り組むことになり、その活動母体となったのが『榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会』であります。

### 【こんなこともやりました】 その 1

山口盆地を南北に貫流する榎野川が最近、こども達の歓声が川辺から遠ざかり、大人達の姿もまばらになってきたことに気付いた多くの仲間が集まって、この素晴らしい環境を百年後のこども達に残してやるためにいろいろな活動に取り組んでおります。その運動のシンボルとして昨年 3 月荒谷ダムの畔に《源流の碑》を建立しました。



四季の森で汗を流す仲間達



荒谷ダムの畔に「源流の碑」完成

山口を代表する民芸品の大内人形を形取ったこのシンボルは、多くの皆さまに愛され続けてきましたが、お姫様お一人ではお可愛そうだという声に押され、お婿さんを心配しようではないかということになりました。

幸いにも「財団法人・やまぐち県民活動きらめき財団」様からたくさんのご援助をいただきとともに、「大内塗ふるさとの森づくりの会」谷口会長から積極的なご指導をいただき、8月4日、JR山口駅前で除幕・お披露目の会を終えました。

お人形の左右両面に、大きく弧を描く榎野川の流れを配し、向かって右側を、春夏バージョンとし、五重塔や桜を。続いてゲンジボタル、藤の花、ショウブ、アジサイ、またフナやアユなどを配し、左側を秋冬バージョンとして、サビエル記念聖堂、紅葉に菊の花や、馥郁と香る菊や、イチヨウ等々、榎野川の四季をレイアウトしたものとなっております。



完成間近のお殿様

しかしながら、作業は私ども全くの素人ばかりが仕事の合間を縫って、毎週土曜日を定例の作業日と定め、2月の寒風吹きすさぶ頃から、身を焦がす8月の炎天下まで、約7ヶ月をかけて奮闘した産物で

出来上がった物は決して立派なものではありませんが、このお人形に込められた思いは誰にも負けないものだと思っております。

このお殿様は当然のように荒谷ダムのお姫様の方を向いていらっしゃいます。

願わくばこのお殿様が、この地を訪れる多くの人々に、ニッコリと微笑みを誘い、自分たちを取り巻く厳しい環境に、しばしの間思いを寄せていただく、そんなお手伝いをしてくれたらこんなに嬉しいことはないと思っております。

### 【こんなこともやりました】 その2

最近河川と同様、山口湾の様子も随分様変わりがしてきました。こども達の歓声に湧いた潮干狩りの賑わいも遠い昔の物語になってしまいました。

『やまぐちの豊かな流域構想』に従い、多くの人々が疲れ切った干潟を元気づけようと干潟再生活動に取り組むことになりました。四季の森の植栽作業に参加して下さった漁師さん達に少しでもお返ししようと、山奥の仲間もたくさん参加しました。



干潟耕耘に汗を流す仲間達

今年度からは、この事業も私たちの協議会が、KJB瀬戸内基金の援助を受けて引き継ぐことになりました。

### 【こんなこともしたいと思っています】

秋に榎野川で実施予定の面白い取り組みについてお知らせします。

「水について考えて、水と友達になろう！水を大切にしよう！」その気持ちをたくさんの人に持ってもらうために、水の授業＝「水育（みずいく）」の出張授業をしているサントリーと一緒にイベントを開催することになりました。

山口県の施設「シンフォニアいわくに」の指定管理者であるサントリーが地域貢献活動の一環として、今回特別にこの企画が実現しました。地球にある水



の量や、わたしたちの暮らしと水の関わり、水を育んでくれる森の働きなどを、ゲームや実験を通して楽しく紹介する水育の授業です。

水を守り、森川海の大切さについてもう一度考える良い機会です。

10月25日(土)午後から、会場は「山口森林ふれあいセンター」(山口中央森林組合内)にて開催します。小学5年、6年生が対象となります。詳細は、別途ご案内致します。

## 山口哺乳類研究会(所在地:山口市、活動場所:山口県内全域)

### リス・モモンガ・ヤマネの調査ボランティアを募集します。

哺乳類は生態系の中で頂点に属する動物の一群です。哺乳類相が多様で豊かであるとは自然の豊かさを裏付けるものであると考えられます。しかしながら、山口県における哺乳類に関するデータは少なく、哺乳類は身近に生息しながら生活の様子があまり知られていません。

山口哺乳類研究会は、哺乳類の生息分布・行動・生態・社会構造をセンサーカメラ、赤外線ビデオ、発信機などの情報機器、調査機器を駆使して調査研究しています。2008年度より種の絶滅が危惧されているリス・モモンガ・ヤマネの調査研究を実施していますので、この調査ボランティアに参加して、哺乳類の生活の一端を垣間見て下さい。

### 1 リス・モモンガ・ヤマネの状況

区 分	レッドデータブックカテゴリー		状 況
	環境省	山口県	
ニホンリス	絶滅のおそれのある地域個体群	絶滅危惧ⅠA類	1981年以降、目撃、捕獲情報なし
ニホンモモンガ		絶滅危惧 類	鳥用の巣箱で目撃された以外の目撃、捕獲情報なし
ヤマネ	準絶滅危惧	絶滅危惧 B類	偶然の目撃・捕獲以外の情報なし。国の天然記念物

### 2 調査方法

ニホンリス	これまで情報がある山口県周南市鹿野、岩国市錦・本郷のアカマツ林を中心に、食痕などの痕跡調査と誘因餌を用いた自動撮影カメラによる生息確認を行います。
ニホンモモンガ	西中国山地に広く生息している可能性があるため、10km以上離れた10地点の調査区を設定し、地上2~3mの高さに、調査区ごとにモモンガ用巣箱を設置します。巣箱の利用についての確認は1~2ヶ月ごとに行います。
ヤマネ	西中国山地に広く生息している可能性があるため、10km以上離れた10地点の調査区を設定し、地上1.5mの高さに、調査区ごとに巣箱背面に出入口のあるヤマネ用の巣箱を設置します。巣箱の利用についての確認は1~2ヶ月ごとに行います。

### 3 参加方法

調査は現地集合・現地解散です。阿東・徳地・鹿野・錦を中心に土日を実施しますが、月に何度かは平日も行います。事務局の田中までご連絡ください。詳細を説明します。

田 中 浩(山口博物館 083-922-0294、携帯 090-7971-6843)

E-mail: h-tanaka43@nifty.com)

# 情報コーナー

## ホームページをリニューアルしました。

6月30日にホームページをリニューアルしました。

新ホームページでは、会員相互の情報交換が行える会員専用掲示板を設けましたので、積極的に利用してください。

ホームページアドレス：<http://www.gotjp.com/yama-kyou/>

また、会員の皆様の役に立つ情報なども順次掲載していきたいと思っておりますので、掲載希望がありましたらご連絡ください。

## 「県民協働型自然共生手づくり事業」の採択について

環境学習推進センターが今年度の実施団体を8団体程度募集していましたが、ネットワーク会員からは3団体が採択されました。

団体名	実施場所	事業概要
山口県自然観察指導員協議会	下関市 蓋井島	県天然記念物ヒゼンマユミ群落自生地の保全（伐竹）
秋吉台パークボランティアの会	美祢市 秋吉台	秋吉台裸地の修復（中国自然歩道の修復、緑化）
榎野川流域地域通貨・連携促進検討協議会	山口市仁保 山口湾	榎野川河口干潟の保全及び源流域（四季の森）の保全活動（草刈、看板・樹名板の設置等）

## リレーミーティングin榎野川の開催について

今年度のリレーミーティングは山口市の榎野川流域で下記のとおり開催します。

開催日 9月27日（土）～28日（日）

内容 榎野川河口：干潟再生の取組（耕耘、観察）を体験

榎野川源流：四季の森の観察

その他：地域通貨「フシノ」でお買い物、記念講演、バングーオケストラ

詳細については後日御案内します。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

## 新規会員募集中！

山口県の豊かな自然環境を後世に引き継ぐためには、自然環境に関心を持つ仲間のネットワークを拡げて、いろいろな情報を共有することが重要です。

自然環境の保全等に興味のある方が近くにいたら、ぜひ入会してもらいましょう。

やまぐち自然共生ネットワークでは、みなさまからの情報をお待ちしています。

活動報告、活動予定等がありましたら、下記までご連絡ください。

ご連絡いただいた情報は、情報誌「ニュース」、機関誌「共生」、またはホームページに掲載し、会員のみなさまに情報として提供します。

〔事務局〕〒753-0811 山口市吉敷2602-5-201 田中 浩（090-7971-6843）

〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県自然保護課 内田 修（083-933-3060）

E-mail [h-tanaka43@nifty.com](mailto:h-tanaka43@nifty.com) URL <http://www.gotjp.com/yama-kyou/>